

東北地方 1か月予報

(3月29日から4月28日までの天候見通し)

平成15年3月28日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

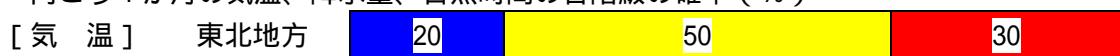
向こう1か月の可能性の大きな天候は以下のとあります。

天気は概ね周期的に変化し、平年同様晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並、日照時間は平年並の見込みです。

週別の気温は1週目は平年並、2週目は平年並か高く、3~4週目は平年並でしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

<予報の対象期間>

1か月 : 3月29日(土) ~ 4月28日(月)

1週目 : 3月29日(土) ~ 4月 4日(金)

2週目 : 4月 5日(土) ~ 4月11日(金)

3~4週目 : 4月12日(土) ~ 4月25日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は4月4日

3か月予報：4月24日(木) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	8.5	139.7	179.1	6.1	7.6	9.5
新庄	7.5	105.8	151.9	4.5	6.3	8.9
若松	9.2	67.6	175.5	6.1	8.0	10.6
深浦	7.8	98.3	175.5	5.5	7.0	8.8
青森	7.4	65.7	188.9	4.9	6.5	8.6
むつ	6.7	84.1	195.1	4.3	5.8	7.7
八戸	7.7	60.6	197.1	5.3	6.8	8.8
秋田	8.7	121.6	177.3	6.2	7.8	9.8
盛岡	7.8	98.1	177.8	4.9	6.7	9.0
宮古	8.2	98.8	194.5	5.8	7.3	9.2
酒田	9.3	110.7	173.9	6.9	8.5	10.4
山形	9.2	70.2	180.3	6.1	8.0	10.5
仙台	9.6	99.5	193.3	7.1	8.7	10.7
石巻	8.7	93.0	196.2	6.4	7.8	9.8
福島	10.7	83.9	191.7	7.8	9.5	12.0
白河	9.2	103.9	187.2	6.5	8.2	10.5
小名浜	10.6	131.8	188.5	8.5	9.8	11.6

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはあります。下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4~+0.4	84~114	95~103
東北日本海側	-0.5~+0.5	88~109	95~106
東北太平洋側	-0.3~+0.4	80~115	96~103

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.5~+0.6	-0.5~+0.7	-0.4~+0.3
東北日本海側	-0.6~+0.7	-0.7~+0.8	-0.5~+0.4
東北太平洋側	-0.6~+0.7	-0.5~+0.8	-0.4~+0.4

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、予報した階級が実際に起こる割合(出現率)を表しています。たとえば、確率60%の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率(各階級ともに33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成15年3月28日 仙台管区気象台

1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう1か月(3月29日～4月28日)：

天気は概ね周期的に変化し、平年同様晴れの日が多いでしょう。

平均気温は平年並の見込みです。

1週目(3月29日～4月4日)：

期間の初めは寒気の影響で東北日本海側で雨や雪の降る所もありますが、中頃までは高気圧に覆われ概ね晴れるでしょう。期間の終わりは気圧の谷の影響で天気がくずれる見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

2週目(4月5日～4月11日)：

天気は概ね周期的に変化するでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

3～4週目(4月12日～4月25日)：

天気は概ね周期的に変化するでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

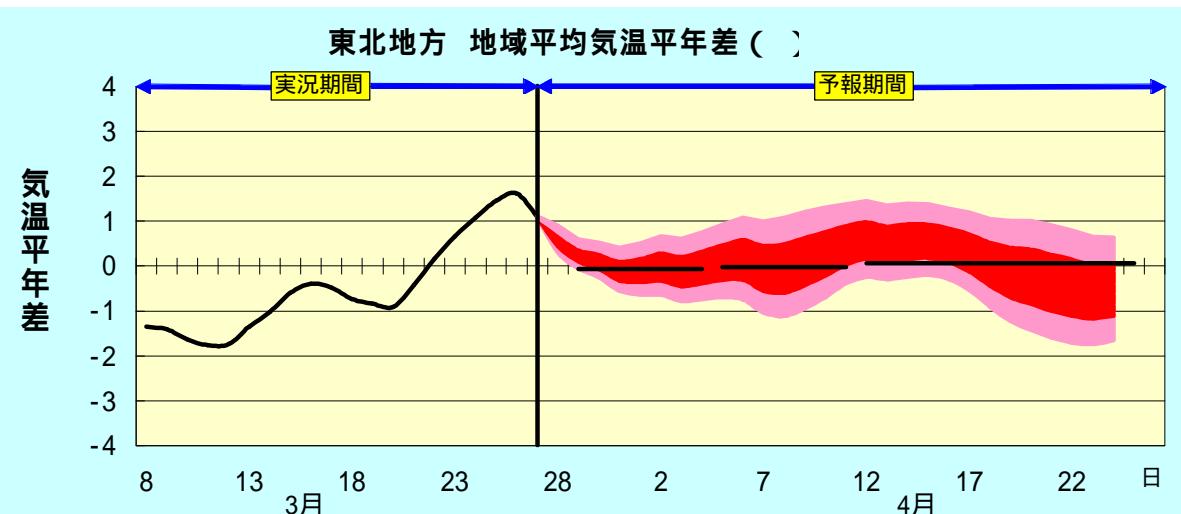
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3～4週目
東北日本海側	15.2日	3.6日	3.8日	7.8日
東北太平洋側	16.9日	4.3日	4.3日	8.3日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目、3～4週目とも「平年並」を予測している。予報は、その他の資料から2週目を「平年並か高い」に変更するほかは、数値予報どおりとする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。



* 実況期間(図の左側)の太い実線：東北地方地域平均気温平年差の実況値。（7日平均値）

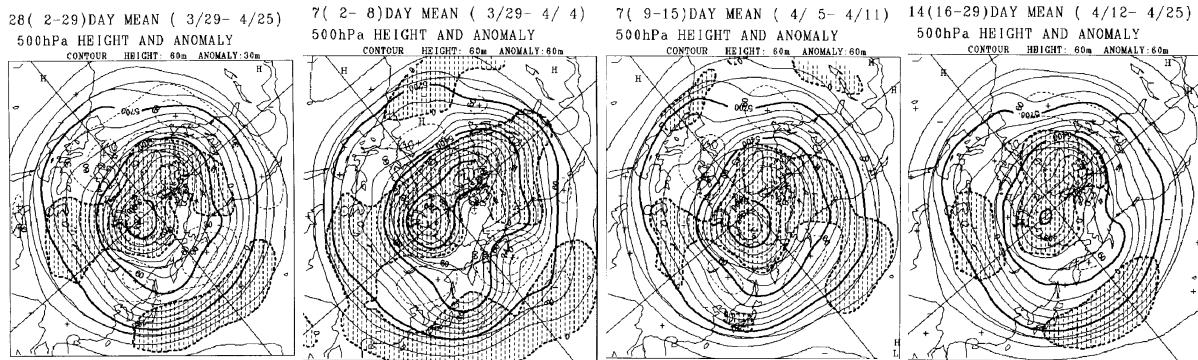
* 予報期間(図の右側)には7日平均気温の予測に対する信頼の程度が40%の幅(濃い赤の範囲)と信頼の程度が70%の幅(濃い赤と薄い赤の範囲)を表示

* 水平な3本の実線：予報期間の1週目、2週目、3～4週目についての多数の平均。

3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

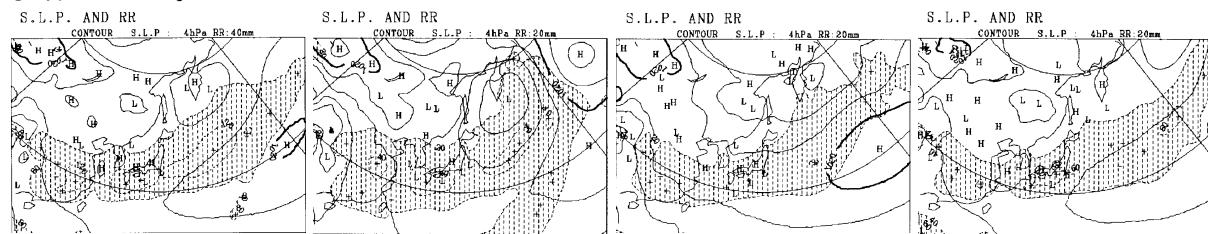
500hPa 高度と偏差：

月平均では、バイカル湖の東からアリューシャン列島に連なる正偏差に北海道が覆われるが、本州から日本の南東海上は負偏差に覆われる。日本付近の偏西風の流れは順調で、天気は概ね周期変化する見込み。週別に見ると、1週目は日本の南東海上の負偏差が月平均に比べ強く、東北地方でも一時的に寒気の影響を受ける。2週目は、東北地方から日本の南東海上にかけてが正偏差に転じ、東北地方は気温の高い日がある見込み。3~4週目は概ね月平均と同様の偏差分布だが、日本の北の正偏差は小さくなり平年の状態に近づく。



地上気圧と降水量：

月平均で見ると、日本付近の等圧線の間隔はまばらで、天気は平年同様に周期変化が基調になる見込み。中国大陸から本州、日本の東海上にかけて降水域が予想されている。週別に見ても、各週とも等圧線の間隔はまばらで、東北地方に降水域がかかっており、周期的な低気圧の通過を示唆している。



4. 最近1週間（3月21日～3月27日）の天候の経過

この期間、27日午後は日本海に進んだ低気圧の影響で東北日本海側で雨となつたが、その他の日は高気圧に覆われ各地とも概ね晴れた。なお、27日に東北日本海側の各地で黄砂を観測した。

平均気温は、東北地方で平年差+1.3℃と高い。降水量は、東北北部で平年比26%と少なく、東北南部で平年比9%とかなり少ない。日照時間は、東北北部で平年比124%と多く、東北南部で平年比131%とかなり多い。

